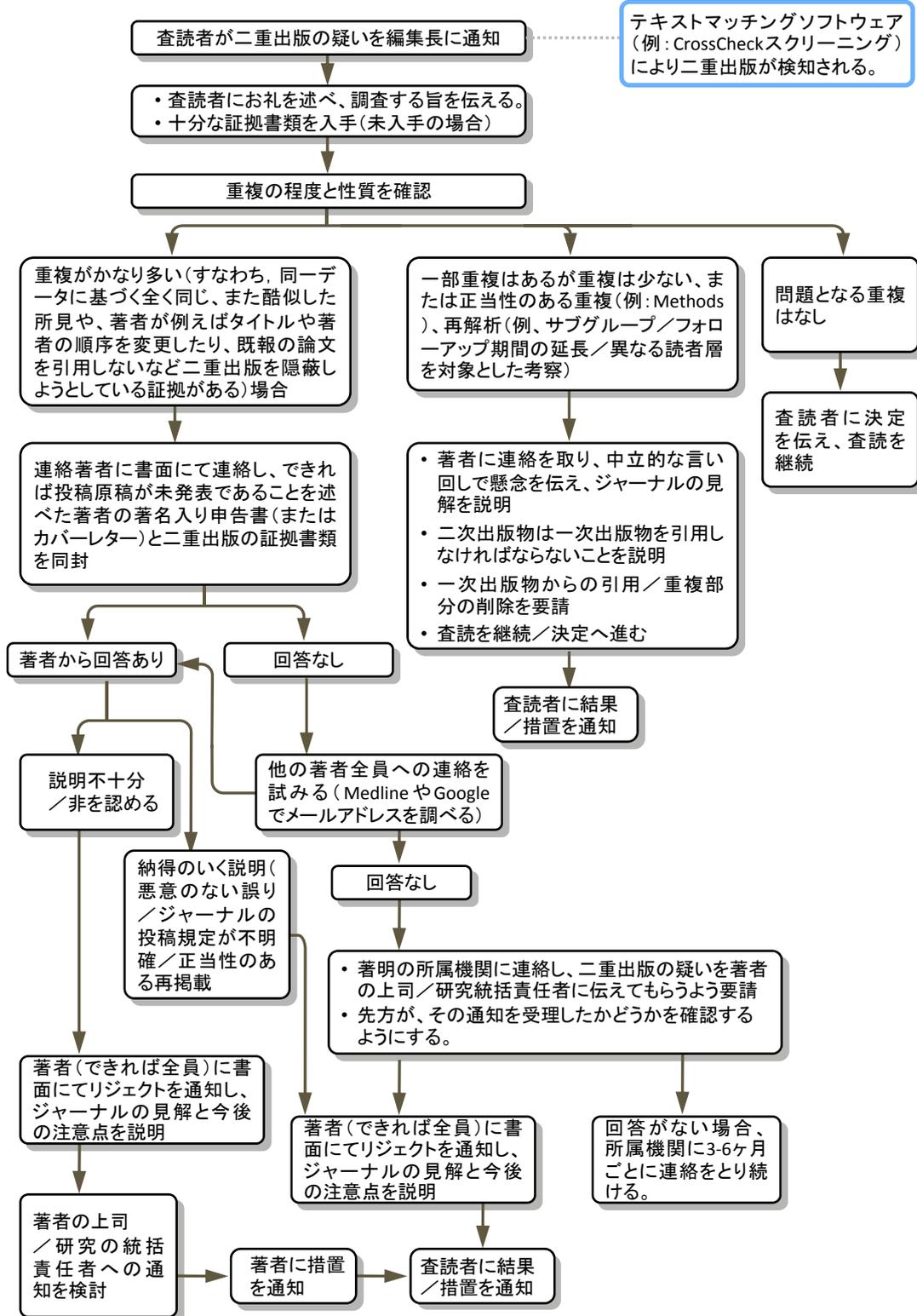


(a) 投稿原稿に二重出版の疑いがある場合

Suspected redundant publication in a submitted manuscript



テキストマッチングソフトウェア(例: CrossCheckスクリーニング)により二重出版が検知される。

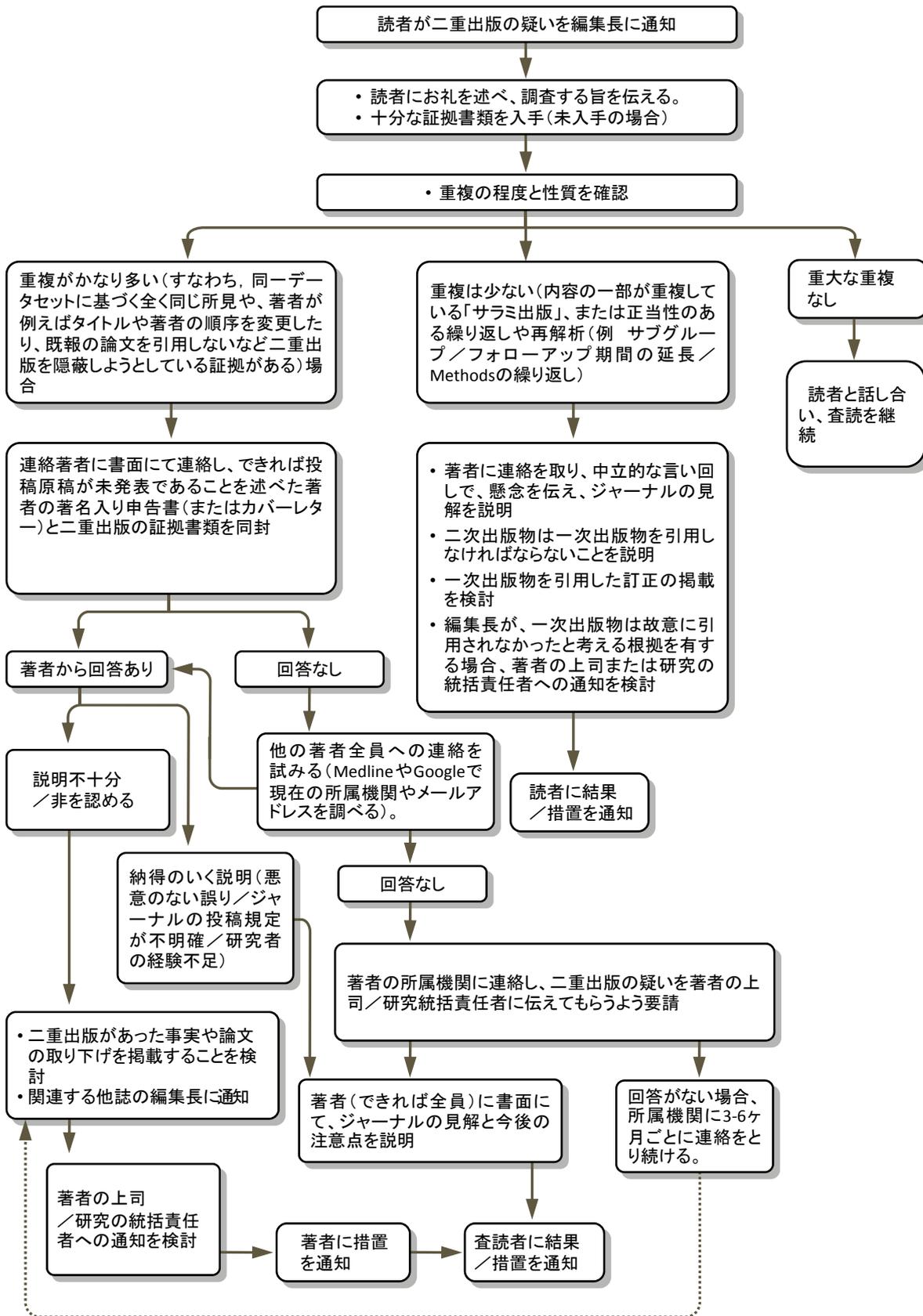
- 注:
- 投稿規定には、二重出版に関するジャーナルの方針を記載すること。
 - 所属機関の方針を尋ねることは役立つ場合がある。
 - 著者に、原稿はオリジナルであり、他で出版されていないことを確認するよう求める。
 - 国際医学雑誌編集委員会(ICMJE)は翻訳を容認するが、オリジナルの引用が必須であると勧告している。

参考文献:
COPEの二重出版についての事例:
[http://publicationethics.org/cases/?\[0\]=im_field_classifications%3A829](http://publicationethics.org/cases/?[0]=im_field_classifications%3A829)

サイトのリンクの紹介は利用者への便宜のためであり、COPEはサイト内のコンテンツに責任を負わない。

(b) 掲載論文に二重出版の疑いがある場合

Suspected redundant publication in a published manuscript



注:

• 投稿規定には、二重出版に関するジャーナルの方針を記載すること。

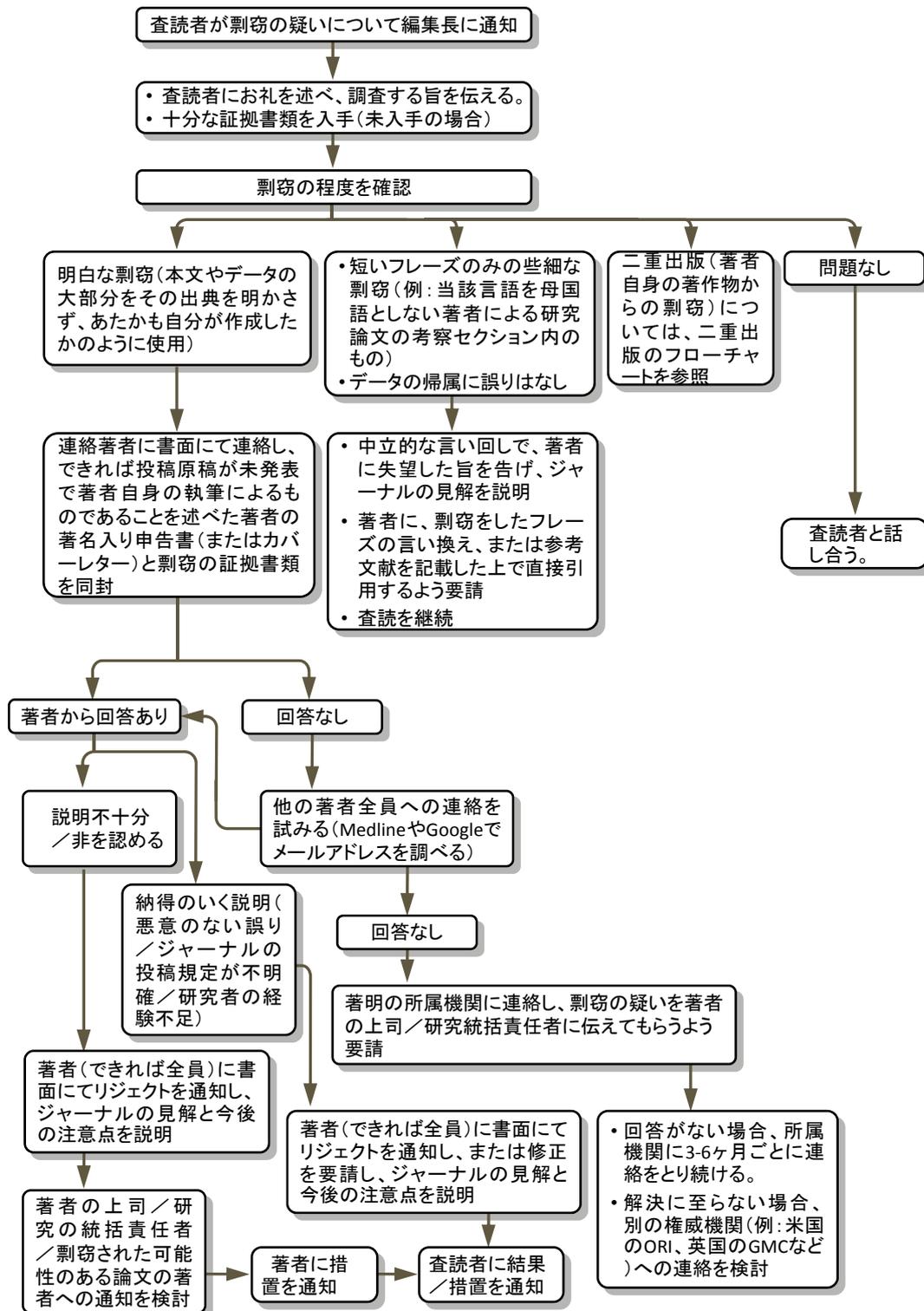
• 著名入りの申告書やチェックシートを著者に課すると、後々の調査に役立つ場合がある。

• 国際医学雑誌編集委員会(ICMJE)は翻訳を容認するが、オリジナルの引用が必須であると警告している。

• 二重出版が発覚した場合、編集長は論文の取り下げや二重出版があった事実ではなく、訂正(一次出版物へのリンク)の掲載を検討してもよい。

(a) 投稿原稿に剽窃の疑いがある場合

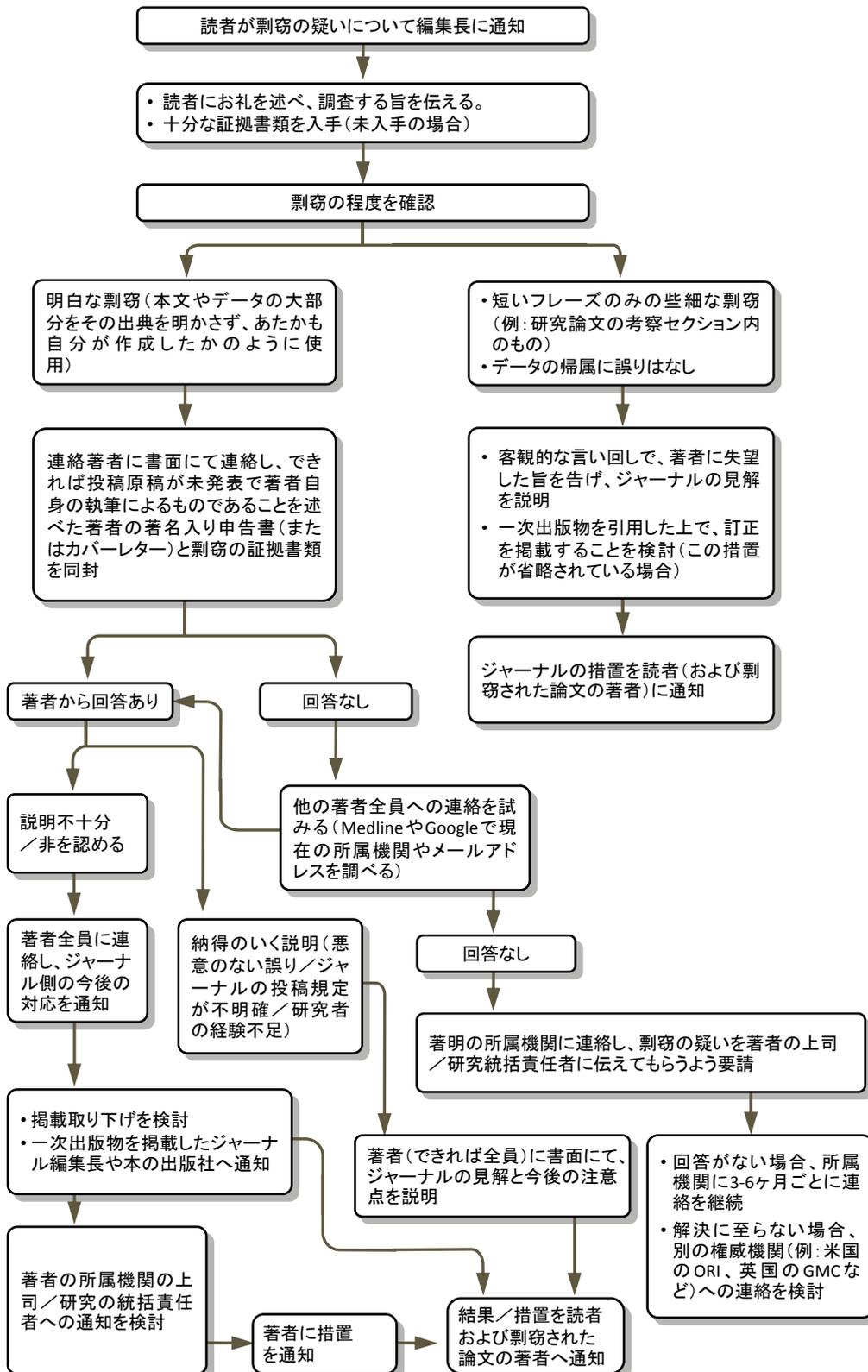
Suspected plagiarism in a submitted manuscript



注: 投稿規定には、剽窃の定義とジャーナルの方針を記載すること。

(b) 掲載論文に剽窃の疑いがある場合

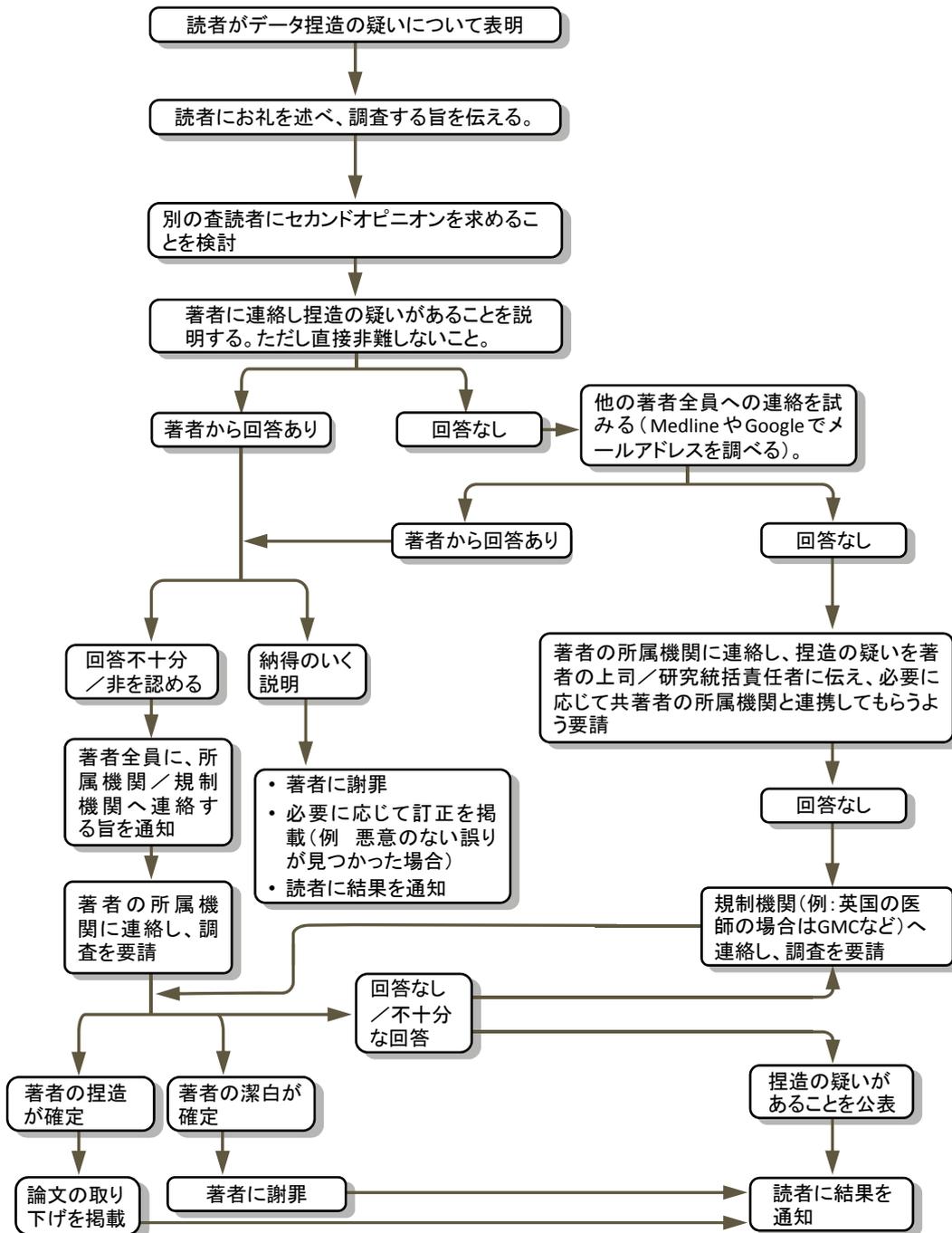
Suspected plagiarism in a published manuscript



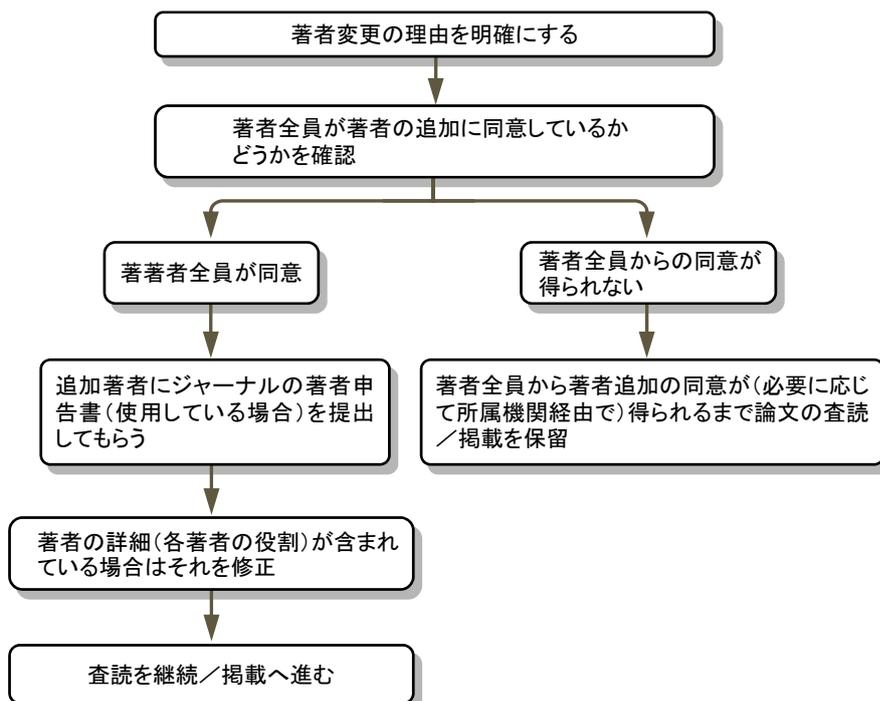
注: 投稿規定には、剽窃の定義とジャーナルの方針を記載すること。

(b) 掲載論文にデータ捏造の疑いがある場合

Suspected fabricated data in a published manuscript

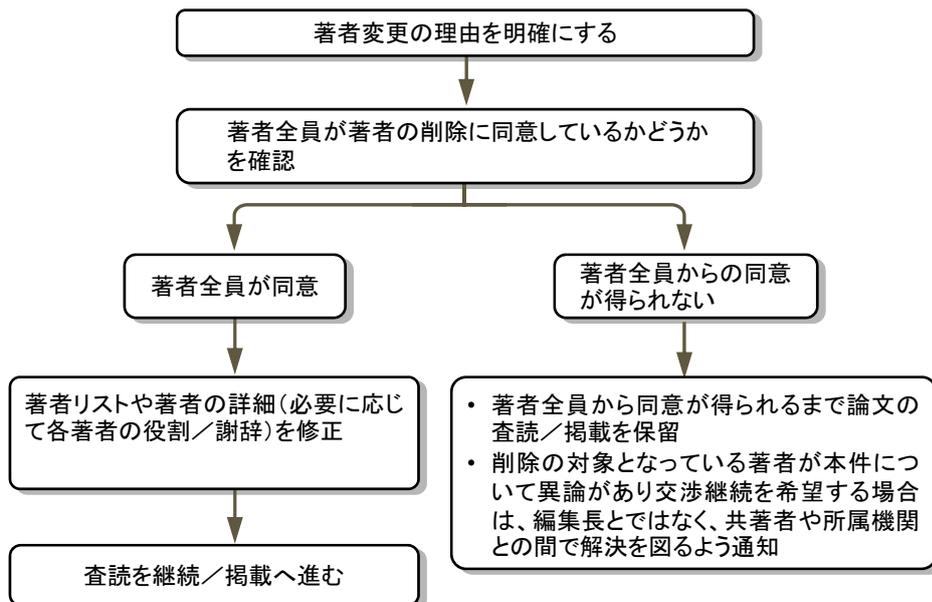


(a) 連絡著者が論文掲載前に著者の追加を要請してきた場合
Corresponding author requests addition of extra author
before publication



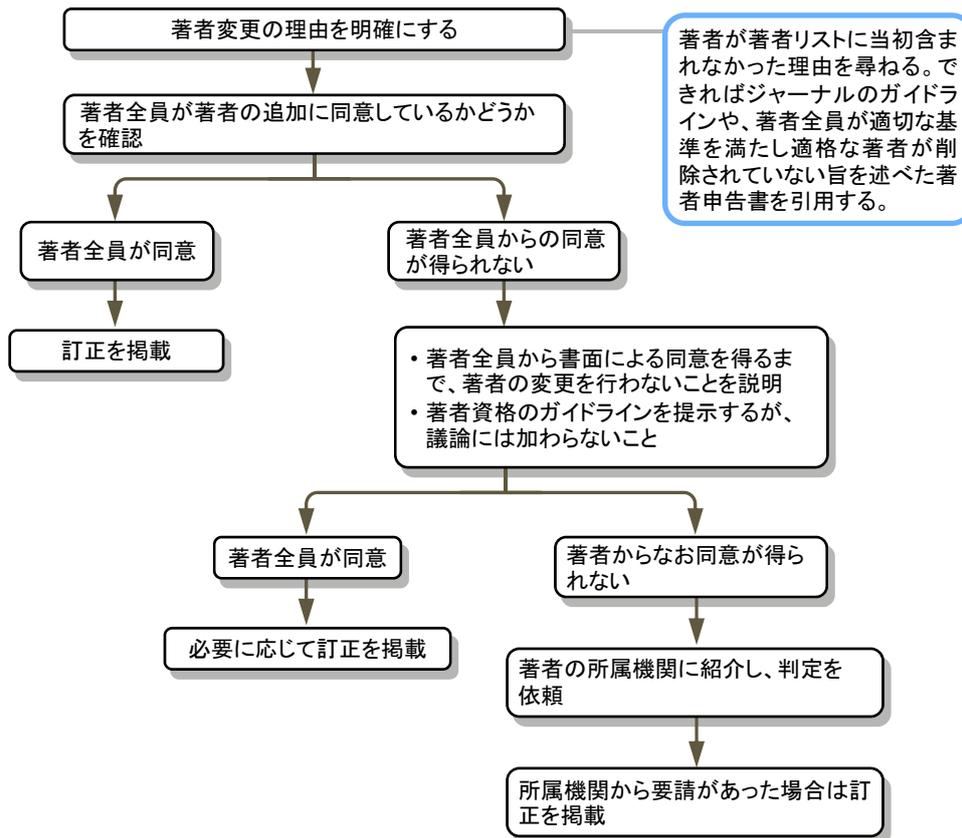
注: 新たなデータの追加など査読コメントへの返答に主要な変更がある場合、著者の追加が正当だと認められる可能性がある。

(b) 連絡著者が論文掲載前に著者の削除を要請してきた場合
Corresponding author requests removal of author before
before publication



注: 最も重要なのは、論文から名前が削除される著者に事実確認をし、書面による同意を得ることである。

(c) 論文掲載後に著者の追加を要請してきた場合 Request for addition of extra author after publication

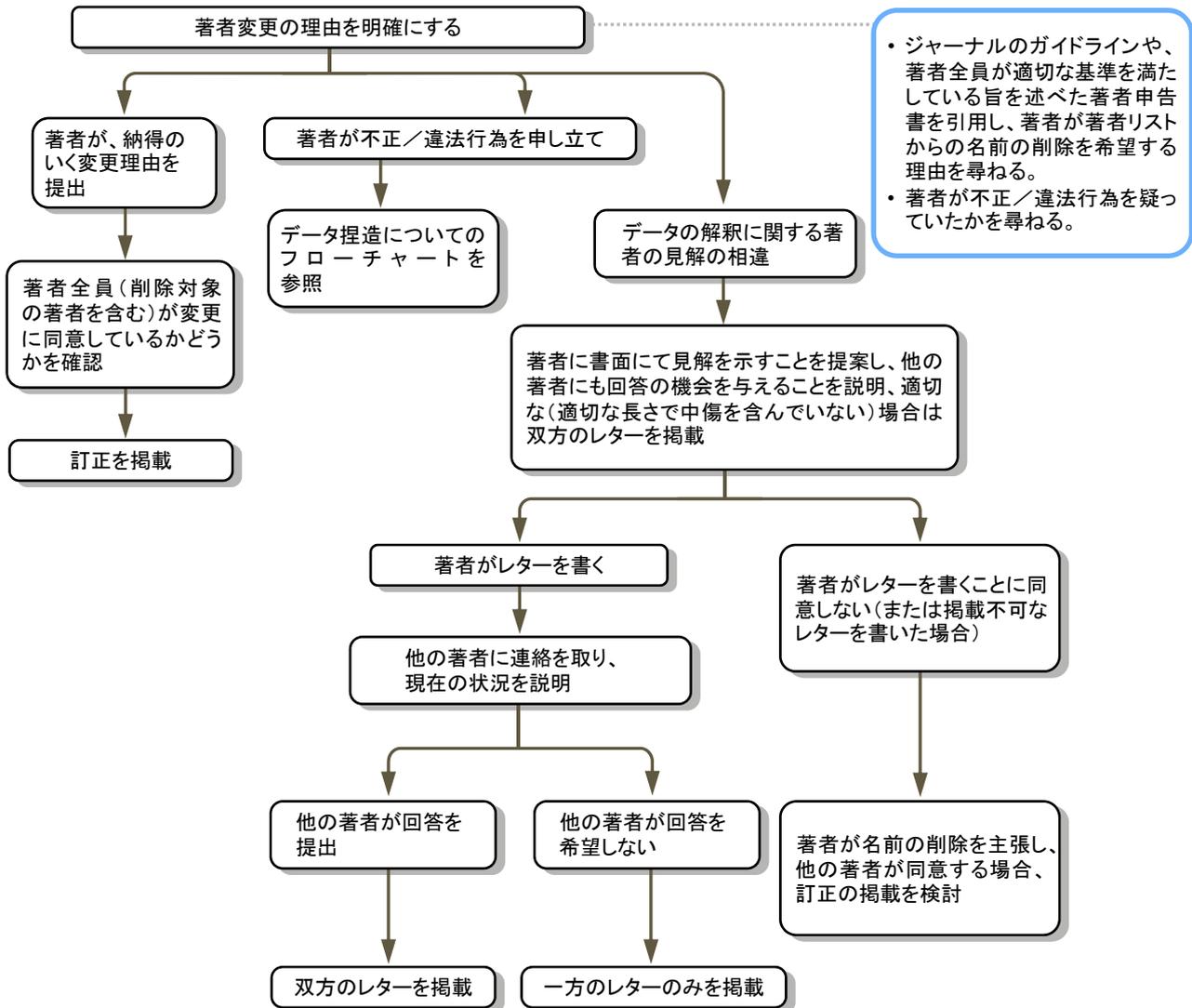


問題を未然に防ぐために:

- (1) 掲載前に、記載された著者全員が著者としての基準を満たし、基準を満たした人の記載漏れがないことを明記した申告書に著者達の署名を得ておく。
- (2) 各著者の研究・掲載に対する貢献について、詳細を掲載する。

(d)論文掲載後に著者の削除を要請してきた場合

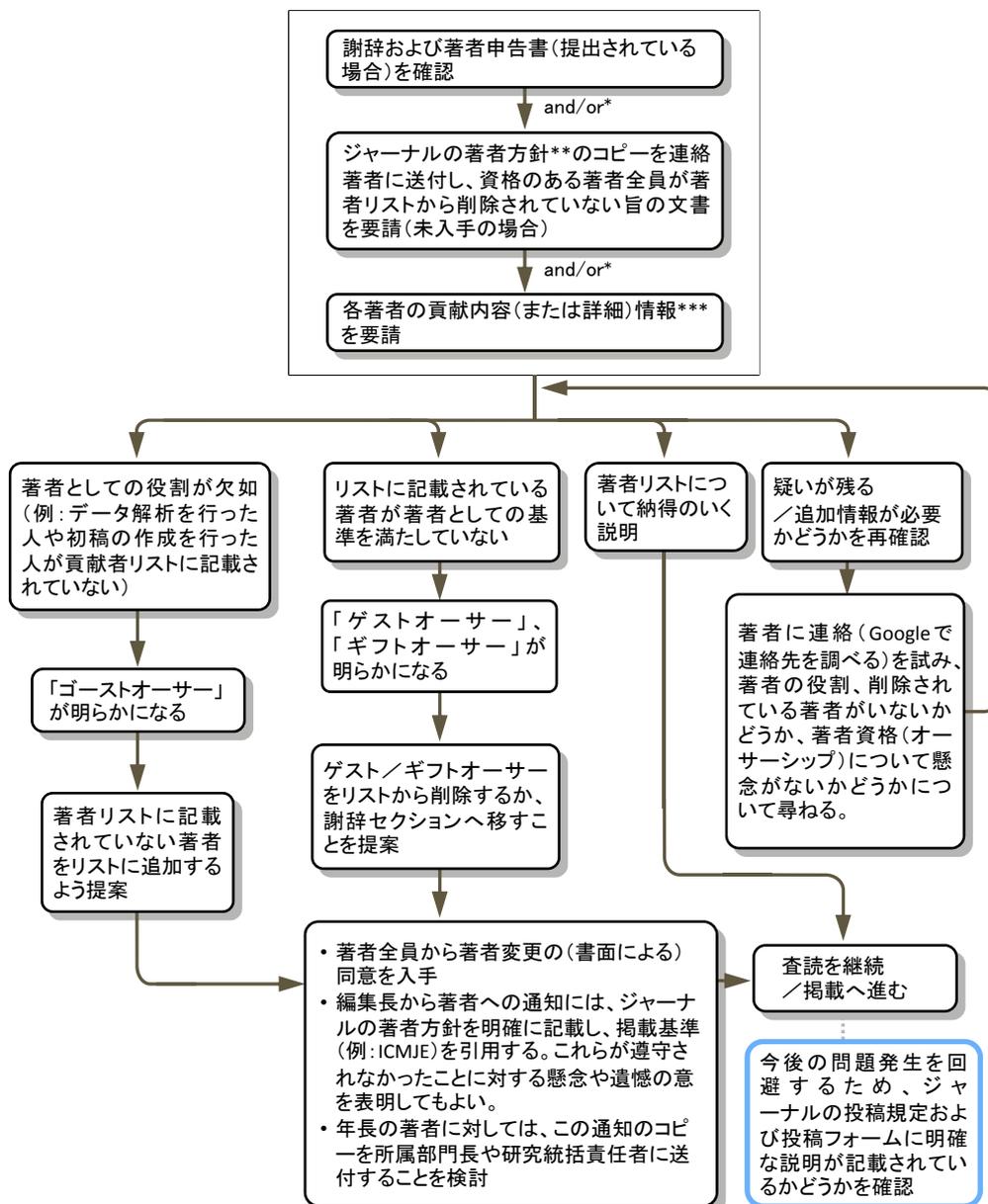
Request for removal of author after publication



- ジャーナルのガイドラインや、著者全員が適切な基準を満たしている旨を述べた著者申告書を引用し、著者が著者リストからの名前の削除を希望する理由を尋ねる。
- 著者が不正／違法行為を疑っていたかを尋ねる。

ゴーストオーサーシップ、ゲストオーサーシップ ギフトオーサーシップの疑いがある場合の対応

What to do if you suspect ghost, guest or gift authorship
(see also flowcharts on Changes in authorship, as such requests may indicate the presence of a ghost or gift author)



*注: 初動対応は、ジャーナルが通常どように著者に関する情報を収集しているかによって異なる。

**注: ジャーナルの投稿規定に著者資格に関する明確なガイドライン/基準を含めておくと、こうした問題に対処しやすい。

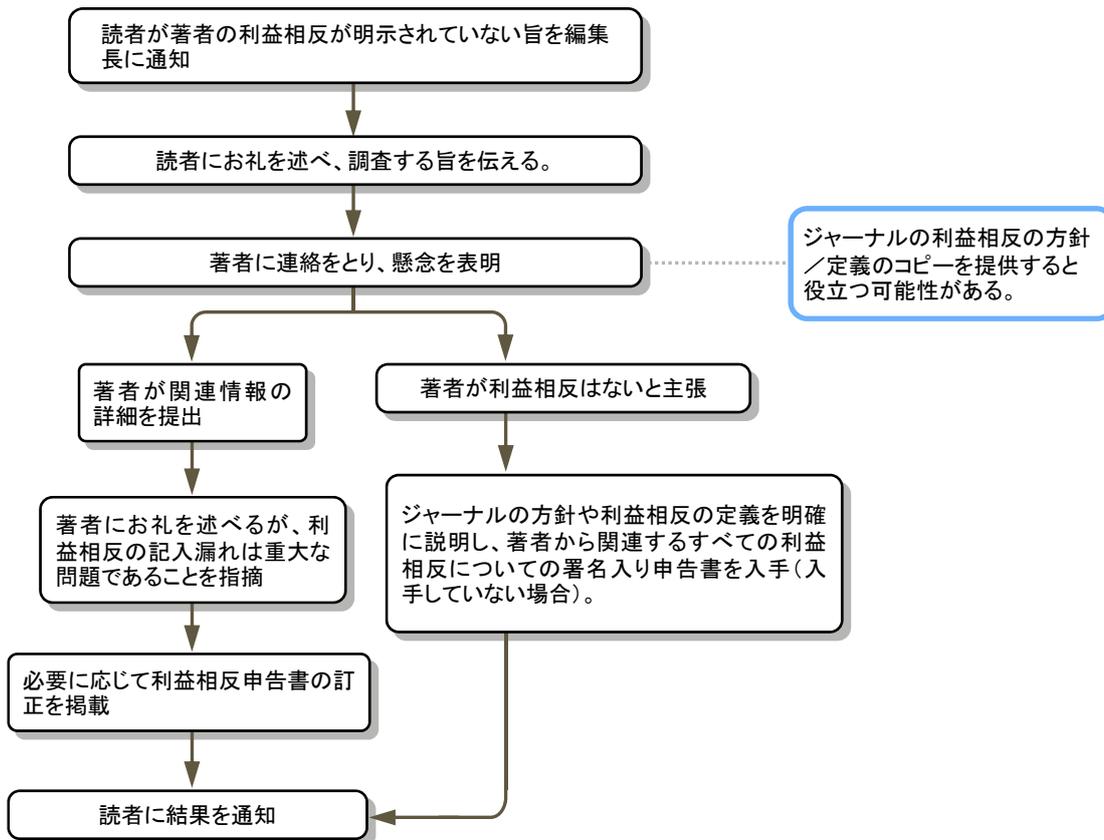
***注: Marusic 他による論文では、こうしたデータの収集方法(例: 自由記入、ボックスにチェックを入れる)が回答に影響を与えている。著者自身に論文への貢献を記載してもらうことにより、最も信頼性が高く有益な回答を得られると思われる。

参考文献

Marusic A, Bates T, Anic A et al. How the structure of contribution disclosure statement affects validity of authorship: a random:seo study in a genera: medical journal. *Curr Med Res Opin* 2006;22:1035-44

利益相反(COI)が掲載論文に明示されていないのではないかと読者が疑いを抱いた場合の対応

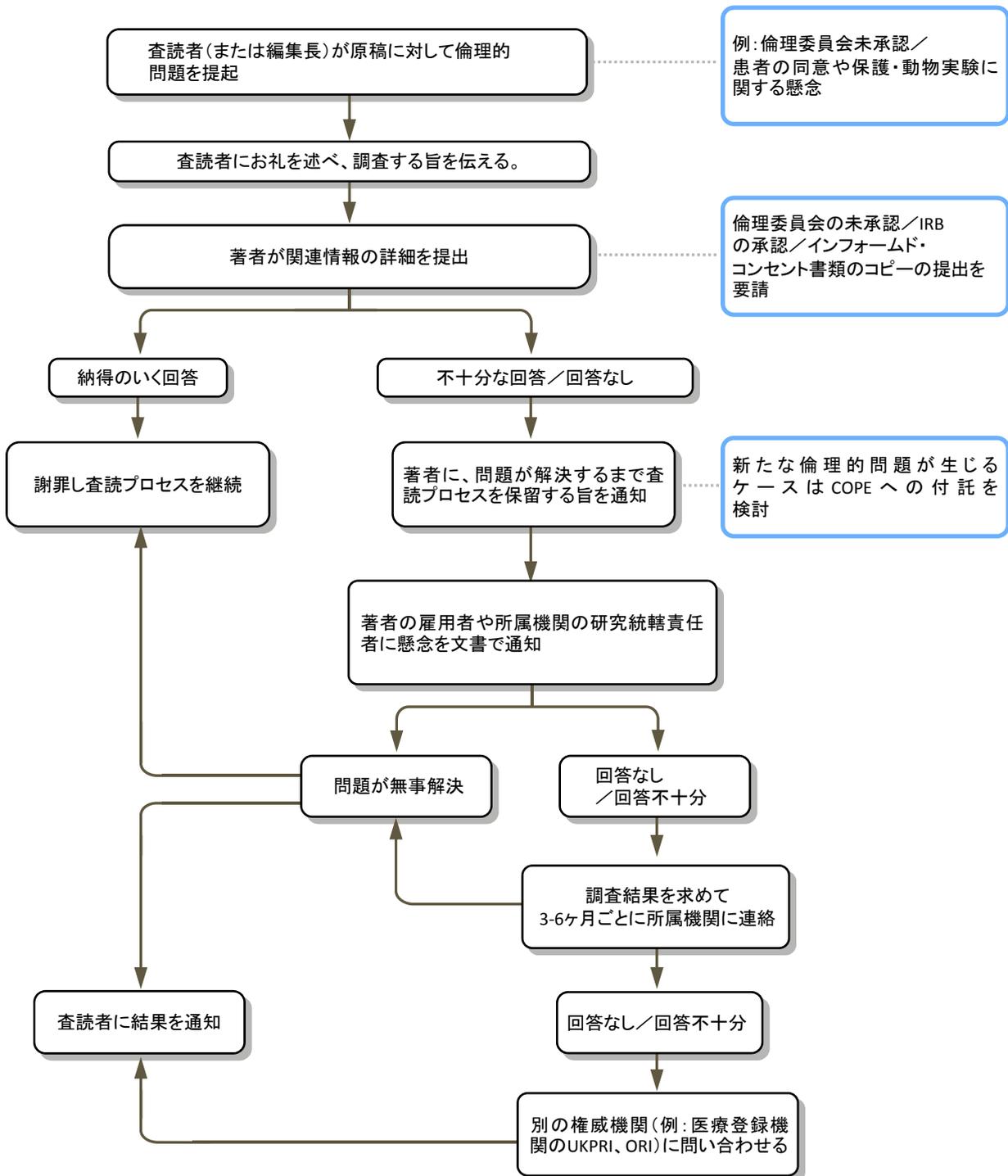
What to do if a reader suspects undisclosed conflict of interest (Col) in a published article



注：今後の問題発生を避けるために：論文の掲載前に著者と査読者全員から必ず署名入り利益相反の申告書を入手しておくこと。ジャーナルのガイドラインに、利益相反の明確な定義が記載されていることを確認。

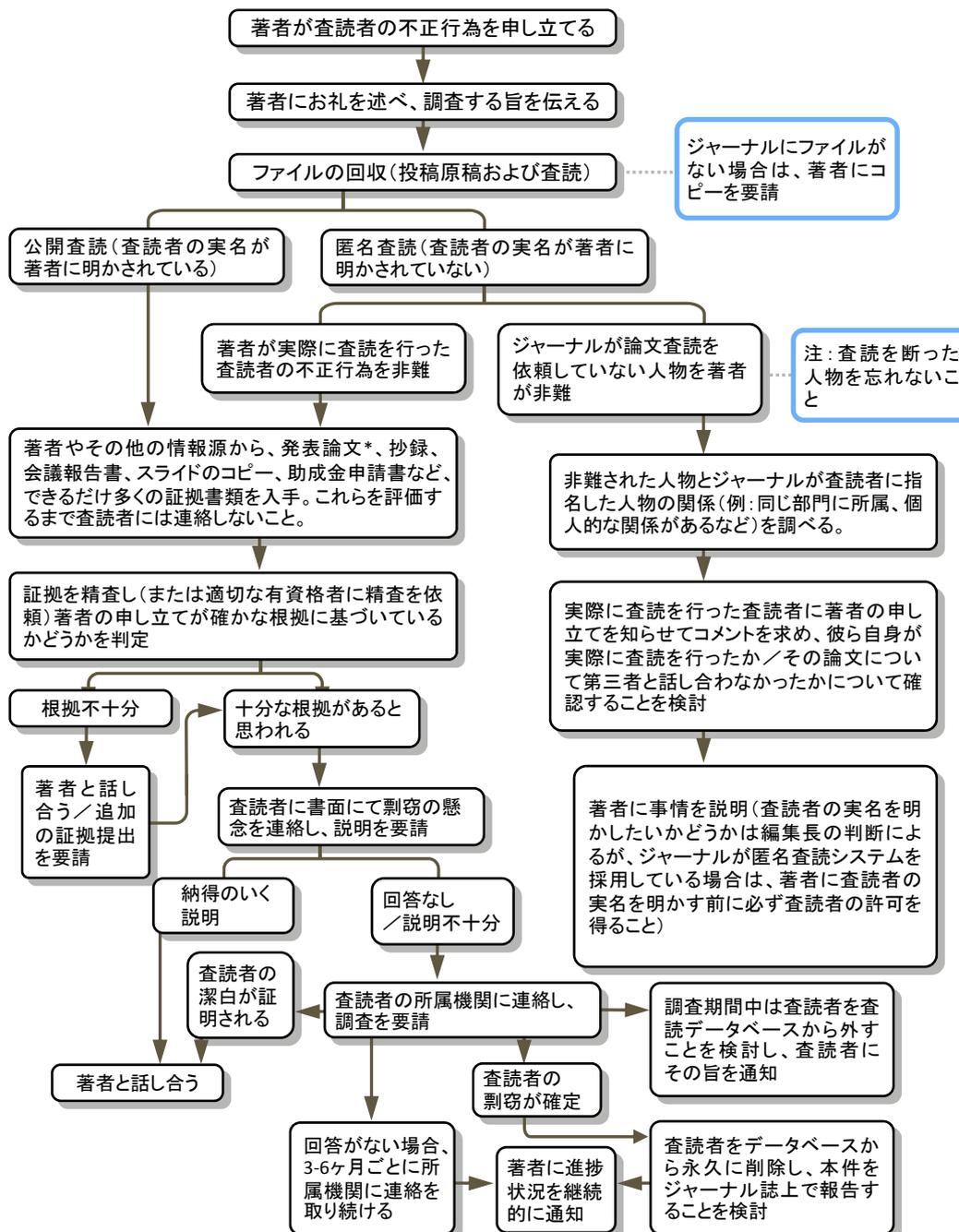
投稿原稿に倫理的問題の疑いがある場合の対応

What to do if you suspect an ethical problem with a submitted manuscript



査読者が著者のアイデアやデータを剽窃した疑いがある場合の対応

What to do if you suspect a reviewer has appropriated an author's ideas or data



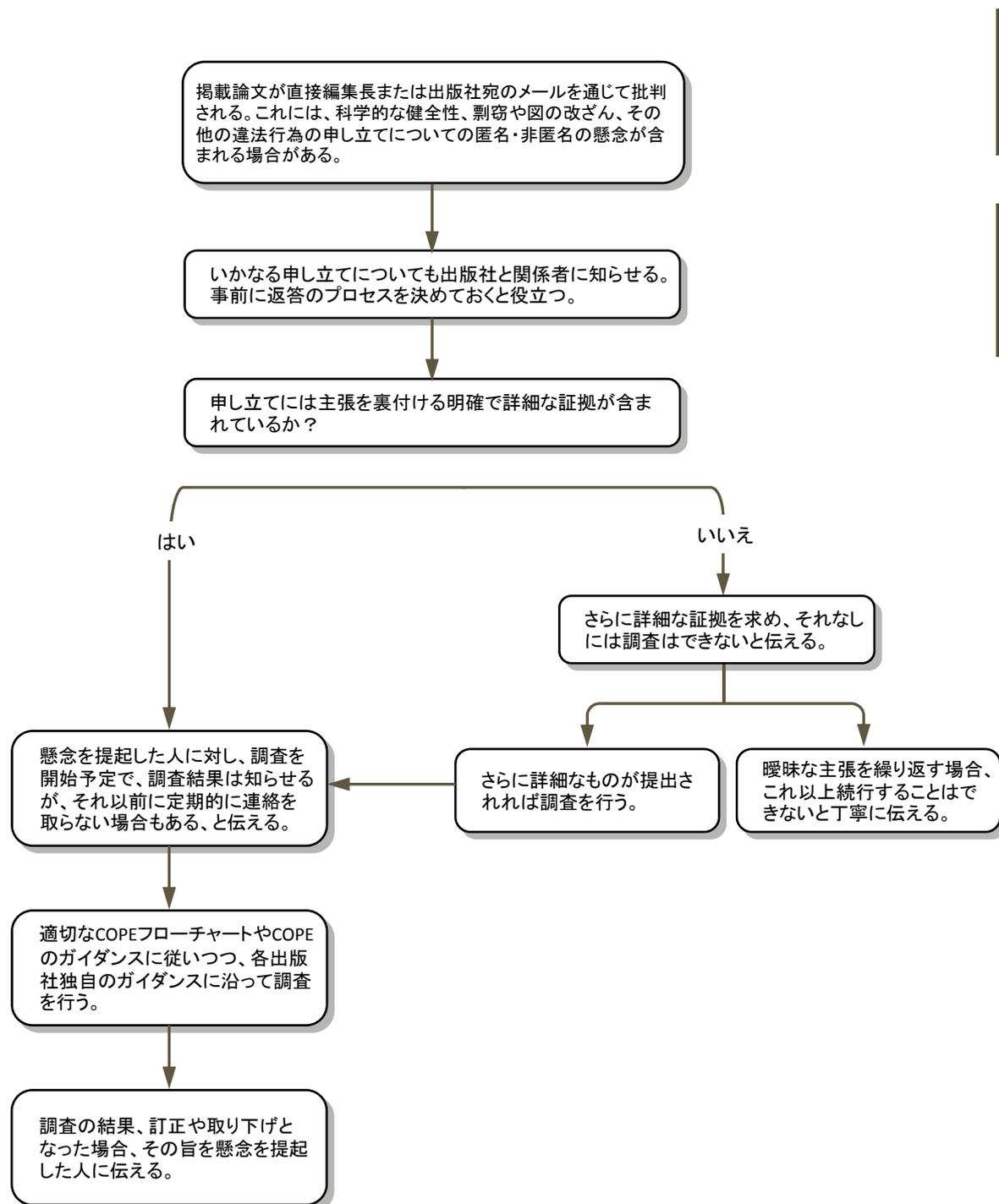
注: 査読規定に、投稿論文は機密文書として扱い、掲載されるまではいかなる用途にも使用してはならない、ということを確認すること。

注: どちらの方法を採用するかはジャーナルの査読システムによる。

注: 著者が掲載済論文から論文を作成した場合、これは剽窃として扱われる可能性がある。(剽窃のフローチャートを参照)

懸念が直接提起された場合の告発者（内部告発者も含む）への対応

How to respond to whistle blowers when concerns are raised directly



注：申し立ての調子は攻撃的、個人攻撃的である場合がある。丁寧に返答し、個人的なやりとりに陥らないようにすること。

注：内部告発者は匿名のままであることを好む場合がある。匿名を望む人を「公表」しないようにすることが重要である。

著者資格(オーサーシップ)に関する問題の発見方法 How to spot authorship problems

編集長は、投稿論文の全ての著者リストを監視することはできないが、著者リストに不備がある、または不適格な(ゲスト/ギフト)著者が含まれているといった疑問を持つことがある。COPEのフローチャート「ゴーストオーサーシップ、ゲストオーサーシップ、ギフトオーサーシップの疑いがある場合の対応」では、こうした場合の対処法を提案している。以下に挙げる点は、編集長が不適格な著者を見逃さず、問題を示唆している可能性のある危険信号を見抜くことができるようにと考案された。

著者資格(オーサーシップ)に関する問題の種類

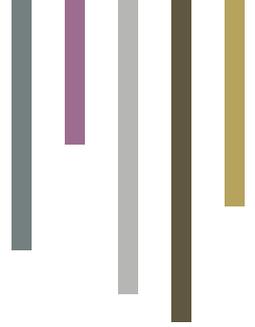
ゴーストオーサーとは、著者として適格でありながら、著者リストから削除されている人物のことである。削除された著者が別の役割、特にデータ解析を担当している場合も多いため、ゴーストオーサー=ゴーストライターとは限らない(Gotzsche他は、企業が資金提供する試験を報告する論文では、研究デザインにかかわった統計の専門家がリストから削除されていることが多いと論証している)。プロのライターが著作に関与している場合、名前を著者リストに載せる基準を満たしているかどうかは、該当する著者基準により決定される。研究論文に関するICMJEの基準では、メディカルライターは通常著者としての資格は満たさないが、彼らの論文への関与及び資金の提供元は謝辞に記載する必要があるとしている。ゲストオーサー、ギフトオーサーとは、著者として適格でないにもかかわらず、著者リストに名前が掲載されている人のことである。ゲストオーサーは、通常、論文を印象づけるため(研究や掲載にほとんど、または全く関与していないにもかかわらず)リストに加えられる。一方ギフトオーサーシップは、お互いの業績数の水増しを目的としたケースが多い(すなわち、同僚の名前を論文に載せる代わりに自分の名前を同僚の論文に載せてもらう)

著者資格(オーサーシップ)に関する問題を発見するヒント

- 連絡著者が査読者のコメントに回答できない場合
- 著者リストに掲載されていない人物によって修正が行われている(Word文書のプロパティで修正者を確認。ただし、共有PCを使用した、秘書が文書の変更を行ったなど、単純に説明が見つかる場合があることに注意)。
- 文書のプロパティに、著者リストや謝辞に含まれていない人物が論文の草稿を作成したことが示されている(ただし前項を参照すること)。
- 例えば総説(レビュー)や意見記事を極端に多数の著者が執筆している(二重出版かどうか確認)(これは、著者名をMedlineやGoogleで検索することにより発見できる場合がある)。
- 類似した総説(レビュー)/論説/意見記事が異なる著者名で何編か掲載されている(これは、論文のタイトルやキーワードをMedlineやGoogleで検索することにより発見できる場合がある)。
- 著者リストに記載されていない役割がある(例:記載されている著者の誰もデータ解析や論文の草稿作成を担当していないような場合)。
- 著者リストが極端に長い、または短い(例:簡単な症例報告を多数の著者が執筆、無作為化試験を1名の著者が執筆)。
- 企業が資金提供する研究にその企業に所属する著者が含まれていない(正当な場合もあるが、適格な著者が除外されている可能性もある。プロトコルを確認することにより、資金提供元の社員の役割を判断できる場合がある。Gotzsche他の論文およびWagerの論評を参照)。

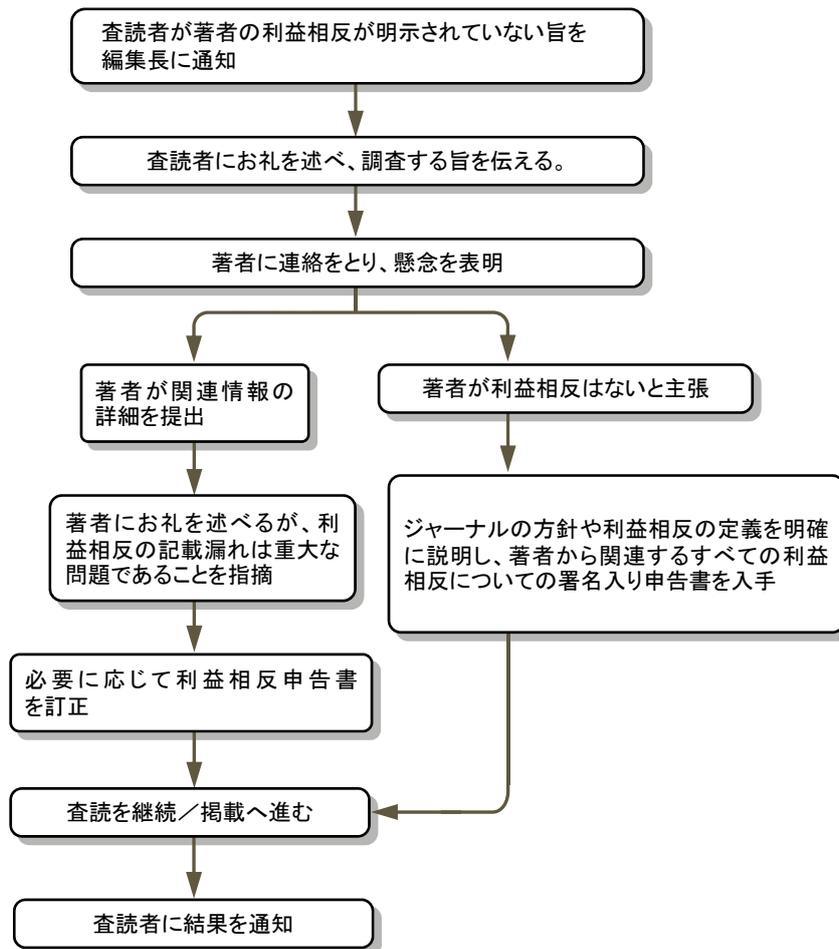
参考文献

- Gotzsche PC, Hrobjartsson A, Johansen HK, Haer MT, Altman DG et al. Ghost authorship in industry – initiated randomized trials. PLoS Med 2007;4(1):e19. doi:10.1371/journal.pmed.00440019
- Wager E (2007) Authors, Ghosts, Damned Lies, and Statisticians. PLoS Med 2007;4(1):e34. doi:10.1371/journal.pmed.00440034



利益相反 (COI) が投稿原稿に明示されていないのではないかと査読者が疑いを抱いた場合の対応

What to do if a reviewer suspects undisclosed conflict of interest (Col) in a submitted manuscript



懸念がソーシャルメディアを通じて提起された場合の告発者 (内部告発者も含む)への対応

How to respond to whistle blowers when concerns are raised via social media

